

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	10 月	17 日	記入者	仲谷裕巳
調査者名	春日	仲谷			

文化財名	東大寺鏡池棲息ワタカ				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1953年(昭和28)3月23日				
所在地	奈良市雑司町東大寺境内				
所有者 管理者	東大寺				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	池畔に設置				
公開	常時				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input checked="" type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 (確認はできなかった)				
当面の課題	平成16年度奈良県版レッドデータブック作成事業・奈良公園周辺合同現地調査の結果概要では、東大寺鏡池で4個体捕獲、採寸後放流。とある。 2020年(令和2)大阪電気通信大学工学部環境科学科の協力によって、池の浚渫作業に伴う「生態系の学術調査」が実施され、1個体のみ(大学ホームページ)確認された。				
今後の課題	奈良県レッドリストのカテゴリーでは、絶滅危惧種ではなく郷土種(県民が大切にしている、もしくは大切にしたい種)に指定されている。郷土種と位置付けられているが、奈良県においてはカテゴリーの見直しと共に保全し、今後もワタカの保護に努めて欲しい。				
その他 (由緒など)	日本特産の魚で、琵琶湖及びこれに接続する淀川にのみ産するとされている魚である。本県下では天理市の内山永久寺本堂池に棲息していたことが知られているが、池水の涸渇や濫獲で絶滅するのを恐れ、東大寺鏡池や石上神宮鏡池などに移植され、現在この2池に繁殖しているのみである。(奈良県教育委員会編 奈良県史跡名勝天然記念物集録2より抜粋)				
コメント	ワタカは、コイ目コイ科に属する淡水魚の一種で日本の固有種。近年は主な生息地である琵琶湖でも個体数は激減しており、現在は環境省のレッドリストに絶滅危惧種として指定されている。 今回、ワタカは確認されなかった。浚渫に伴う調査で1個体しか確認されておらず、ほとんどいなくなっていると想像される。県の今後の対策を望む。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	10 月	17 日	記入者	仲谷裕巳
調査者名	春日	仲谷			

文化財名	東大寺鏡池棲息ワタカ
------	------------

東大寺参道	ワタカ説明板
-------	--------



鏡池	護岸より
----	------



捕獲されたワタカ(大学ホームページより)	護岸より
----------------------	------

